

令和 5 年度 学校関係者評価及び改善策

(中間・**最終**)

吳中央中学校区 校番13 吳中央中学校

| 評価項目 | ※評価 | 理由・意見 |
|----------------|-----|--|
| 目標、指標の設定の適切さ | A | 経営理念に基づいた経営目標であり、生徒の学校生活及び学校生活の中から目標を定め、重点的な面から指標が設定されている。従来から続いている目標・指標なので、特に項目を絞り継続することが大切だと思う。 |
| 目標達成のための方策の適切さ | A | 個別支援プログラムや「吳中央中学校スタンダード」の活用や Qubenaの活用等、また日々の学校生活の中で自己指導能力を高めるための習慣化の方策は適切である。「しなやかな体」については9年間を見通したとあるので、小学校とのつながりがわかるよう改善が必要である。 |
| 自己評価の結果の分析の適切さ | A | 小中で共通した重点項目を設定し、9年間で達成することは大切だと思う。学力差も大きくなっていく中で、「授業で思考表現している」生徒の割合が89%となっているのは、高い数値だと思う。また、安心できる居場所があることや相談できる人がいるという項目の数値が高いということは、信頼のおける学校だということがわかる。 |
| 今後の改善策(案)の適切さ | A | コロナが5類となり、体育祭・文化祭・生徒会活動が活発になり、生徒の主体的な取組を継続的且つ発展的に設けていくことはとても良いことだと思う。遅刻の件は、ある程度家庭の協力で改善すると考えられるが、生徒の気持ちを引き付ける取組が必要だと思う。ロイロノート等の活用が先生方の授業準備の効率化や生徒の学習向上につながることを願っている。 |
| その他 | | めあても対策も適正に評価されている。学習意欲や学力にも個人差が大きくなり、一人一人の個性が強くなる中、中学校の先生方は大変だと思う。小中の校長先生を先頭に連携がよくとられていると感じた。生徒アンケートの肯定的評価が「自分には良いところがある」86%、「安心できる居場所がある」96%であることが素晴らしい。生徒の意見を聞き入れながら「生徒指導規定」の見直しを図るなど「生徒主体」の学校づくりを一層進めるよう頑張ってください。期待しています。 |

※ 評価は、A(とても適切)、B(概ね適切)、C(あまり適切でない)、D(まったく適切でない)、N(分からない)

| | |
|--------------------|---|
| 学校関係者評価を受けての今後の改善策 | <p>コロナが明けて、再開された様々な教育活動について、9年間を見通した取組になっているか見直し等も含め、小中での教職員の連携をより一層図っていく。</p> <p>生徒主体の活動となるよう、特に「生徒指導規定」の見直しや、生活習慣「掃除」「遅刻(時間を守ること)」など、生徒会を中心とした取組を進めていきたい。</p> |
|--------------------|---|